

大阪市立天王寺中学校 69期生 長谷川 華蓮

私は天王寺中学校であいさつの大切さを学びました。朝、先生方や先輩方にあったらあいさつ。朝以降にもう一度会ったり、すれ違って必ずあいさつをするのが3年間の中学校生活で身に付きました。

中学校を卒業して高校2年生の秋にダンス部の部長になりました。私の高校のダンス部は他の部活より厳しく、学校を代表する部活でした。が、私が部長になる前は積極的にきちんとあいさつをしていくという状況ではなかったので、私が部長になってからはあいさつを徹底しました。おかげ様で、次第に学校の先生や地域の方々、大会でお会いした審査員のみなさんや他の学校の顧問の先生方に、私たちのあいさつがとても気持ちが良いと褒めていただく場面が多くなり、同時に地域の成人式やイベントにも呼んでいただき、踊らせていただく機会も増えていきました。

天王寺中学校で私が身に付けたあいさつが、私だけでなく他の部員の自信にも繋がりました。天王寺中学校の卒業生で本当に良かったです!!

